

# インターロッキングブロック舗装 Technical Report

## － 材料編4 － (上層路盤)

Vol.8

### 1. 上層路盤の種類

インターロッキングブロック舗装の上層路盤材料には各種安定処理や粒度調整砕石、粒度調整鉄鋼スラグなどがある。上層路盤材料の品質規格を表1に示します。

表1 上層路盤材料の品質規格

工法	品質規格値
瀝青安定処理(加熱混合)	安定度:3.43kN 以上 フロー値:10~40(1/100cm) 空隙率:3~12%
セメント・瀝青安定処理	一軸圧縮強さ(7日):1.5~2.9Mpa 一次変位量(7日):5~30(1/100cm) 残留強度率(7日)65%以上
セメント安定処理	一軸圧縮強さ(7日):2.9Mpa
粒度調整砕石	修正 CBR:80%以上 塑性指数 PI:4以下
粒度調整鉄鋼スラグ	修正 CBR:80%以上

- (1)上層路盤に再生路盤材料を単独または安定処理して用いる場合、その品質は(社)日本道路協会「舗装再生便覧」を参照してください。
- (2)上層路盤材料は、ほとんどが中央混合方式(定置したプラントから各現場に材料などを配送する方式)によるものであるため、事前にその地域における供給状況を確認してください。
- (3)安定処理に用いる骨材の最大粒径は、40mm以下で、かつ、路盤の一層仕上がり厚さの 1/2 以下が望ましいとされています。また、混合や締固めなどの施工性を考慮した場合、ある程度の粗骨材を含む連続粒度のものが望ましいとされています。
- (4)透水性ILブロック舗装の場合、上層路盤には原則として粒度調整砕石は用いず、クラッシュランまたは透水性瀝青安定処理混合物を使用する。透水性瀝青安定処理混合物の品質目標の例を表2、粒度範囲の一例を表3に示します。

表2 透水性瀝青安定処理混合物の品質目標の例※

項目	目標値
空隙率(%)	20程度
マーシャル安定度(kN)	3.43以上
透水係数(m/s)	$1.0 \times 10^{-4}$ 以上

表3 透水性瀝青安定処理混合物の粒度範囲の一例※

ふるい寸法(mm)	通過質量百分率(%)
37.5	100
31.5	95~100
26.5	90~100
19.0	75~95
13.2	40~70
4.75	10~31
2.36	10~20
0.075	3~7
アスファルト量(%)	4~6

※ 出典:(公社)日本道路協会:透水性舗装ハンドブック,丸善,2007

以上